

令和7年度 身延町議会自主研修講座

「地域モビリティの現状と将来」

モビリティは「移動性」や「可動性」を意味します。

私たちの暮らしの中で、「移動」はとても大切な役割を担っています。

買い物に行くこと、病院に通うこと、友人に会うこと。こうした日常の一つひとつは、「出かけられる」ことがあってこそ成り立っています。一方で、高齢化が進展する中で、自動車を運転できない、また運転に不安を持つ高齢者の移動手段の確保が求められています。また、高齢者の歩行距離の制約から従来よりもきめ細かなサービスが求められています。▼移動手段の確保は、高齢者の外出意欲の増大、定住促進にもつながることから、高齢化社会に対応した地域づくりの重要な課題の一つです。▼地域の交通体系において、バス・タクシーといった公共交通機関が重要な役割を果たすことは言うまでもありません。しかし、公共交通事業者は経営状況の悪化、ドライバー不足といった厳しい現状に置かれています。▼地域の移動手段の確保において、公共交通に頼ることが困難な場合では、地域における住民同士の助け合いを基にした「互助による輸送」も公共交通を補完する移動手段の一つとして考えられます。



講師 在原 巧（ありはら たくみ）

山梨総合研究所主任研究員

山梨中央銀行から出向して2年目

山日新聞「山梨社会経済レポート」に定期的に投稿

（専門分野）産業振興 地域活性化

日 時 2月6日(金)午後1時30分

会 場 身延町議会 議員控室(役場本庁舎 2階)

定 員 約20名

(お問い合わせ) 身延町役場 議会事務局 電話 0556-42-4807